


Tama Art University Museum
多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

報道関係資料 PRESS RELEASE

1996年7月

岡村吉右衛門の仕事
-型染版画による蝦夷絵の世界-
— THE WORKS OF KICHIUEMON OKAMURA —

会 期 1996年9月17日(火)～10月16日(水)
開館時間＝午前10時～午後5時
休館日＝日祭日 入 場 無 料

会 場 多摩美術大学附属美術館
東京都八王子市鎌水 2-1723
最寄り駅＝京王相模原線・JR 横浜線 橋本駅
橋本駅北口より京王バス(中央大学行)にて多摩美大前下車

主 催 多摩美術大学附属美術館

協 力 フリーダ・ジャポン(株)

《この展覧会に関するお問い合わせ先》

多摩美術大学附属美術館 学芸員 小林宏道
TEL. 0426-76-8611 (代表) / FAX. 0426-76-2935



Tama Art University Museum 多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鍵水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

このたび多摩美術大学附属美術館では「岡村吉右衛門の仕事－ 蝦夷絵と型染版画の世界－」を開催いたします。

岡村吉右衛門氏(1916～)は、日本の民芸運動の創始者柳宗悦に師事した、現在でも日本を代表する染色家であり、染色実技研究の第一人者です。日本の民芸運動に参画するかたわら、その卓越した技術実践に基づいた、染色に関するさまざまな領域についての研究や調査の業績は、あらゆる意味において、人類の染色技術や染色文化についての貴重な資料であり、彼の染色にかける情熱と造詣の深さをものがたるものです。さまざまな研究成果を著述、講義するかたわら、世界各地(沖縄、北海道をはじめ、中国、インド、東南アジア等)でのフィールドワークをとおして、染色はもとより、布地、陶器、民具などの工芸研究を続けてきました。

ところが、そうした民芸運動家や工芸研究者として高い評価を受けている岡村吉右衛門氏自身の研究を実地にいかした染色作品は、長年公表される機会が、ほとんどありませんでした。工芸や染色に関する数多くの著作とは裏腹に、工芸作家岡村吉右衛門は、いつのまにか「幻の作家」となっていたのです。

岡村吉右衛門氏は、ここ最近、北海道のアイヌ民族の伝統的な文化に根ざした、蝦夷絵の世界を実地の調査・研究をもとにした独自の染色技法による「型染版画」で表現し続けています。そこに描かれているさまざまなアイヌの人々の習俗や文字、文様、そして鳥や獣、魚、鯨、樹木、花などのさまざまな動植物をとりいれた自然のモチーフは、自然の恵みとして形作られていった工芸技法・素材とあいまって、すばらしい「蝦夷絵」の世界を現代に再現しているとともに、現代の表現としての型染版画作品を見事に完成させています。

今回の展覧会では、アイヌ文化の貴重な語り手となる、型染版画による作品を中心に、過去の型染版画の作品、約100点に加え、世界各地を訪れて収集した各種の染色資料をあわせて展示いたします。

日本の工芸運動や民族学研究への見落としてはならない存在である染色家「岡村吉右衛門」についての貴重な作品を通して、独自性のある染色表現とアイヌ文化へのさらなる関心の高まることを期待しております。



Tama Art University Museum 多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

岡村吉右衛門略歴

- ・ 1916 (大正5) 年、鳥取市に生まれる。
- ・ 旧制鳥取二中在学中、柳宗悦を識り、民芸運動に参加。
- ・ 旧制鳥取二中学中退。
- ・ 柳宗悦の紹介により、芹沢けい介の門下に入る。
- ・ 1937年、日本民芸館展入選。
- ・ 1940年、北支派遣軍特務機関要員として、河北省台興産業指導所設立、主任。傍ら、切絵、華北染技、華北職人制度を研究。
- ・ 1942年、切紙絵「北京街頭風景」を制作。東京たくみにて個展開催。
- ・ 1943年、海軍航空本部一部一課に所属し、学徒隊徴用工用航空機工作テキストを作成。
- ・ 終戦後、柳宗悦、河井寛次郎、浜田庄司、水谷良一らから、実技染色と論考の二本だてで進むことを薦められる。
- ・ 元国画会会員、並びに会務委員。
- ・ 1960年代後半より、国内(沖縄、北海道等)やインド、東南アジア等への工芸文化について踏査するためのフィールドワークを盛んに行う。
- ・ 1971年、王川大学文学部芸術家染織教室にて東洋の染色実技、および染織論、工芸史を講義。
- ・ 民族芸術学会設立発起人、評議員。
- ・ 沖縄県立沖縄芸術大学夏期講座装飾論担当。
- ・ 1993年に北海道北方博物館にて2人展「北方民族の詩・岡村吉右衛門の世界 シミヨン・ナジェーンのきり絵」開催。

〈附〉柳宗悦晩年、文部省文化財保護委員推薦、人間国宝推薦。

工芸研究所設立(工芸辞典・工芸学基論、そのためのフィールド)委嘱、所長任命を受け、その後、浜田庄司より同様の推薦有りたるも、凡て中断。

現在日本民芸協会常務理事

日本民芸館評議員、運営委員



Tama Art University Museum
多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

岡村吉右衛門の著作目録

著書

- 1964年(昭和39年) 「デザインの歴史」(講談社)
1964年(昭和39年) 「図禄・沖縄の工芸」(青銅社)
1965年(昭和40年) 「染めもの」(美術出版社)*共著
1966年(昭和41年) 「琉球古紅型」(有秀堂)
1967年(昭和42年) 「民芸」日本美術体系別冊(平凡社)*共著
1968年(昭和43年) 「台湾先住民族の織物」(有秀堂)
1968年(昭和43年) 「版と型の美」(美術出版社)
1970年(昭和45年) 「粗粋の書」(衣生活研究会)
1972年(昭和47年) 「陶磁体系 27 巻・日本の民窯」(平凡社)
1973年(昭和48年) 「日本の緋」(衣生活研究会)
1976年(昭和51年) 「アイヌの衣文化」(衣生活研究会)
1977年(昭和52年) 「日本原始織物の研究」(文化出版局)
1977年(昭和52年) 「象徴の美」装飾美論(玉川大学出版部)
1977年(昭和52年) 「奥嶋唐様」(三彩工芸)
1978年(昭和53年) 「工芸—機能の美を求めて」(東海大学出版会)
1980年(昭和55年) 「世界の染物」(衣生活研究会)
1981年(昭和56年) 「世界の原始繊維」(三彩工芸)
1983年(昭和58年) 「信楽の旅」(毎日新聞社)
1984年(昭和59年) 「工芸史研究ノート4」(玉川大学文学部紀要「論業」25号)
1984年(昭和59年) 「アイヌ工芸研究—美意識構造概説」(早稲田大学文学部語学教育研究所紀要31号)
1985年(昭和60年) 「工芸史研究ノート5」(玉川大学文学部紀要「論業」26号)
1989年(平成元年) 「沖縄美術全集 第三巻」(沖縄タイムズ社)
1991年(平成3年) 「紅型・霊住の契り」(吾八書房)
1991年(平成3年) 「柳宗悦と初期民芸運動」(玉川大学出版部)
1992年(平成4年) 「日本のやきもの・民窯」(講談社)*共著
1993年(平成5年) 「日本の染織 12・日本の緋」(紫紅社)
1994年(平成6年) 「装飾論」(沖縄県立芸術大学紀要2号)


Tama Art University Museum
多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鍵水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935

単行本掲載論文

- 1961年(昭和36年) 「日本の染物」(「民芸図鑑」第2巻) 宝文館 211-220p
1963年(昭和38年) 「アイヌの織物と木」(「民芸図鑑」第3巻) 宝文館 183-191p
「沖縄の染物」(同) 133-141p
1965年(昭和40年) 「形之美・模様之美」(「カラーデザイン」) 繊維意匠センター
1966年(昭和41年) 「装飾論」(「美と工芸」) 京都書院
1985年(昭和60年) 「アイヌ工芸の美意識—精霊の薇」
(「日本の伝統工芸1 北海道・東北」) ぎょうせい 86-89p

雑誌掲載論文

民藝(月刊雑誌)

- 1958年(昭和33年) 11月号「平取のはらわた(1)」 34-38p
1958年(昭和33年) 12月号「平取のはらわた(2)」 44-49p
1961年(昭和36年) 10月号「マキリの唄」 37-41p
1961年(昭和36年) 12月号「切伏物語」 25-28p
1963年(昭和38年) 2月号から64年1月号まで「デザインの発生と発展」連載
1985年(昭和60年) 2月号「妖輝・精霊の世界—北方シャーマニズムの残影」 2-7p
1996年(平成8年) 1月号「工芸雑話・台湾先住民の織布」 1
1996年(平成8年) 2月号「工芸雑話・台湾先住民の織布」 1

民芸手帖(月刊雑誌)

- 1964年(昭和39年) 9月号「アイヌの樹皮加工品」 8-11p
1966年(昭和41年) 4月号から12月号まで「陽炎の島々」連載
1967年(昭和42年) 2月号「河井寛次郎・聞き書き」

衣生活(月刊雑誌)

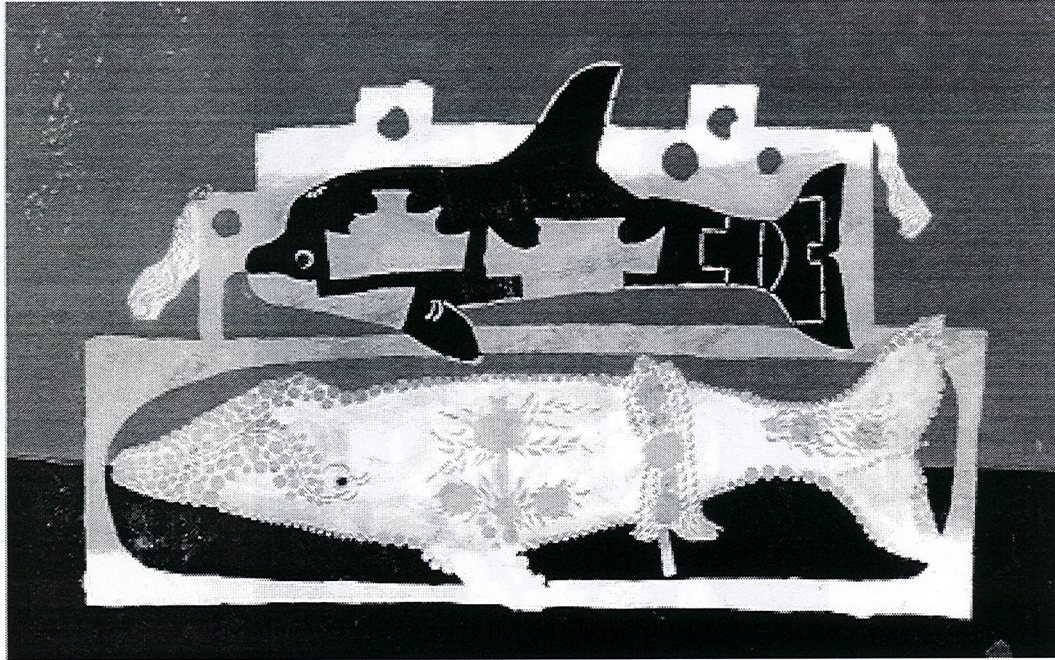
- 1970年(昭和45年) 12月号「アイヌの衣服」 18-21p
1972年5、6、7、8、9、10月号に連載

染色の美(季刊雑誌) 京都書院



Tama Art University Museum
多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鎌水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935



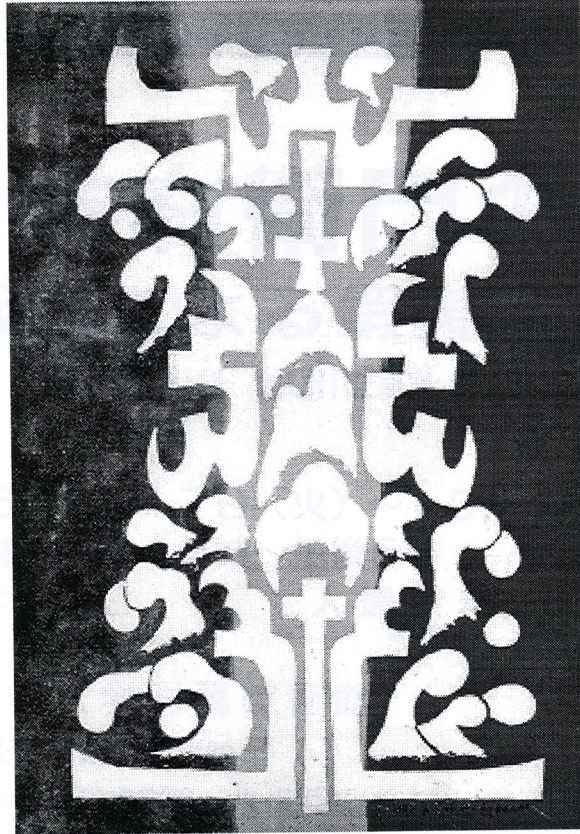
シャチとナガスクジラ 1993年 50×80cm



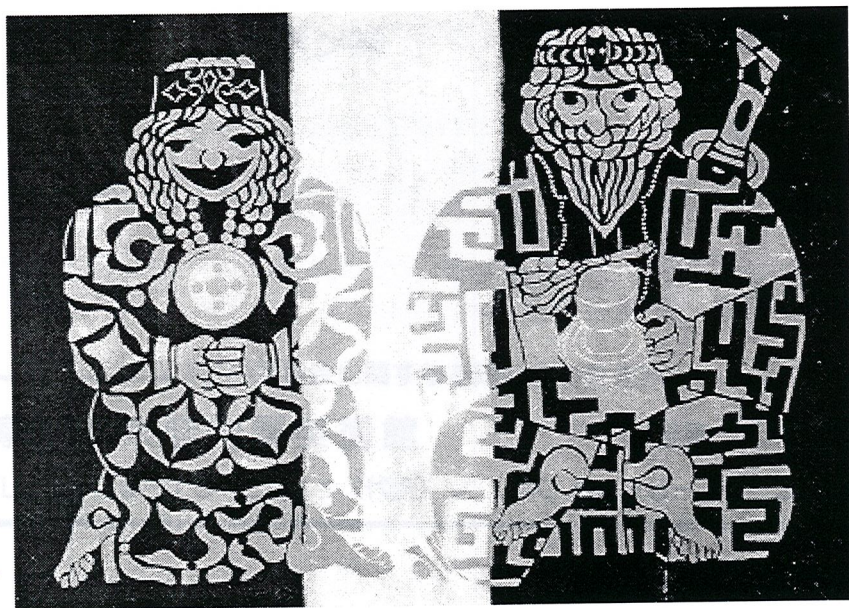
鶴の舞 1993年 56×82cm

≡
Tama Art University Museum
多摩美術大学附属美術館

192-03 東京都八王子市鍵水 2-1723 / Yarimizu2-1723,Hachioji-shi,Tokyo,JAPAN / Tel.0426-76-8611 FAX.0426-76-2935



祝文 (Repun Koyki) 1993年 60×40cm



夫婦 1993年 55×75cm